

<b>岡崎市</b>	所属議員	鈴木英樹、井村伸幸、加藤嘉哉、原紀彦
------------	------	--------------------

<p><b>【活動選定項目】</b> 国・県・市町で取り組む テーマを設定</p>	<p>① カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車)</p> <p>② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現</p> <p>② 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上</p>	<p>① 地域への貢献活動 (例:部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成)</p> <p>② 子育て支援策</p> <p>③ 行政の DX 推進施策</p> <p>③ 人手不足解消への対応(多様性や多文化共生への対応など)</p>
<p><b>具体的活動</b> (調査・研究含む)</p>	<p>○令和6年3月定例会の中で、地球温暖化対策の推進に関する法律が一部改正されたことにより新たに創設された<u>地域脱炭素化促進事業の促進に関する制度</u>の概要などについて会派会長より質問</p> <p>【岡崎市・環境部回答】</p> <p>●法改正により<u>市町村が、地域の再エネを活用した脱炭素化を促進する事業に係る促進区域を設定することが可能。</u></p> <p>●<u>促進区域</u>:市全域の「建物の屋上や屋根及び自家消費するにあたり建物の敷地内の土地」</p> <p>●<u>促進区域における整備施設</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種類:太陽光発電</li> <li>・規模:脱炭素先行地域づくり事業で提案した 1520kw と重点対策加速化事業で提案した 8475kw の合計 9995kw(目標)</li> </ul> <p>●今後は、岡崎市地球温暖化対策実行計画の区域施策編を改正し、再生可能エネルギー、とりわけ太陽光発電については、本市にはまとまった土地などの適地がないことから、建物の屋根や屋上などを最大限活用しながら、ゼロカーボンシティの実現を目指す。</p>	
<p><b>選択した項目</b> テーマ ①</p>	<p>○令和6年3月定例会の中で、地球温暖化対策の推進に関する法律が一部改正されたことにより新たに創設された<u>地域脱炭素化促進事業の促進に関する制度</u>の概要などについて会派会長より質問</p> <p>【岡崎市・環境部回答】</p> <p>●法改正により<u>市町村が、地域の再エネを活用した脱炭素化を促進する事業に係る促進区域を設定することが可能。</u></p> <p>●<u>促進区域</u>:市全域の「建物の屋上や屋根及び自家消費するにあたり建物の敷地内の土地」</p> <p>●<u>促進区域における整備施設</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種類:太陽光発電</li> <li>・規模:脱炭素先行地域づくり事業で提案した 1520kw と重点対策加速化事業で提案した 8475kw の合計 9995kw(目標)</li> </ul> <p>●今後は、岡崎市地球温暖化対策実行計画の区域施策編を改正し、再生可能エネルギー、とりわけ太陽光発電については、本市にはまとまった土地などの適地がないことから、建物の屋根や屋上などを最大限活用しながら、ゼロカーボンシティの実現を目指す。</p>	
<p>今後の活動</p>	<p>CNの実現に向け市の取り組みに対し進捗等を確認していく</p>	



<b>岡崎市</b>	所属議員	鈴木英樹、井村伸幸、加藤嘉哉、原紀彦
------------	------	--------------------

<p><b>【活動選定項目】</b> 国・県・市町で連携して取り組むテーマを設定</p>	<p>① カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車)</p> <p>② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現</p> <p>③ 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上</p>	<p>④ 地域への貢献活動 (例:部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成)</p> <p>⑤ 子育て支援策</p> <p>⑥ 行政の DX 推進施策</p> <p>⑦ 人手不足解消への対応(多様性や多文化共生への対応など)</p>
<p><b>具体的活動</b> (調査・研究含む)</p>	<p>○令和6年度予算において、「快適移動社会の実現」に向けた予算を会派より要望。要望した取り組みの一つである「グリーンスローモビリティの導入」に関する予算が3月定例会にて計上される。</p>	
<p><b>選択した項目</b> テーマ ②</p>	<p><b>【内容】</b> 後期高齢者の増加率が最も高い北部の住宅団地において、公共交通に接続するまでの町内移動について、町内会による「共助」の取り組み支援として<u>脱炭素かつスマートな支援</u>が行えるよう、<u>グリーンスローモビリティの実証運行を予定</u></p>	
<p>今後の活動</p>	<p>実証運行の結果を踏まえ、本格運行の実現および横展開を見据え動向を注視していく</p>	

令和6年度 岡崎市予算編成と施策に関する要望書

「自然・歴史・文化を想い心にひらく思いを伝える施設まるごと」

●車両はタジマモーター社製 TAJIMA NAO-6J (6人乗り) を予定